

報道関係者 各位

茨城県立笠間陶芸大学校

担当：常世田、吉田

電話：0296-72-0316（代） 茨城県



笠間長石ブランディング研究会を開催します！

笠間陶芸大学校では、産地のブランド力強化のため、笠間焼協同組合と共同研究を行い、新しい素材として、2021年に「笠間長石」※1、2023年に「栗灰」※2を開発いたしました。

これまで「笠間長石」を活用するため『笠間長石ブランディング研究会』を設立し、産地の普及を図ってまいりましたが、今年度より「栗灰」の活用をテーマに加え、これら**2つの素材を使用した新しい笠間焼を開発**することにより、さらなるブランド力強化を目指します。

このたび、**展示会開催（2026年2月11～23日、笠間工芸の丘）**を目標に、以下をテーマとした研究会を開催いたしますので、是非ご取材くださいますようお願い申し上げます。

製品の見せ方研究会（写真講座）

- 日 時 2025年10月17日（金） 9時00分から12時00分まで
- 場 所 笠間陶芸大学校 研修室 （笠間市笠間2346-3）
- 講 師 宇津井 志穂 氏
PX3国際賞(パリ)で金賞を受賞するなど、国際的に活躍するプロカメラマン
- 内 容 商品PRや情報発信に欠かせないSNSに関する講義と、
インスタ映えする撮影方法に関する実習
- 参加者 笠間長石研究会、笠間焼業界

※1「笠間長石」とは

笠間産稲田石を原石から碎石へ加工する際に派生する粉末です。

笠間長石には微量な鉄分が含まれており、釉薬の主原料として使用することで焼成方法によって黄味や青味が生まれるほか、配合によっては黒雲母の斑点が出るという特徴があります。



※2「栗灰」とは

笠間の名産品『栗』の剪定枝を焼却した際に出る灰です。

通常、灰は処分されますが、水簸（アク抜き）などの工程を経て、釉薬原料として利用できるようになり、栗を連想するやわらかい発色が見られます。

